

職場に飛び交う **愛言葉**

ご安全に!

大分労働基準監督署 安全衛生課

☎ 870-0016

大分市新川町2-1-36大分合同庁舎2階

☎ 097-535-1513

管轄区域

大分市・別府市・杵築市・由布市・国東市
速見郡日出町・東国東郡姫島村



令和7年 死傷者数6.0%の大幅減!

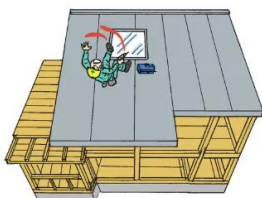
令和7年の大分労働基準監督署管内における休業4日以上
の死傷者数(コロナ除く。)は、令和8年2月末速報値ではありま
すが、前年同期比45人(-6.0%)減少し、4年ぶりに減少となる
見込みとなりました。

また、近年増加傾向であった第三次産業の死傷者数も前年
同期比28人(-6.0%)減少しました。

一方、建設業の死傷者数は前年同期比23人(25.0%)増加
し、死亡者数も2名増加しました。

令和8年 死亡災害2件発生!

令和8年2末日現在において、当署管内で死亡災害が2件
発生しています。1月には、木造2階建ての解体工事現場におい
て、2階屋根瓦の撤去作業を行っ
ていたところ、8.3m下の地面に墜落し
たもの、2月には大分市内の交差点
において、じん芥車と大型トラックが
激突する交通事故が発生しています。



(イラストはイメージ図で、実際の災害発生状況とは異なります。)

令和7年 労働災害発生状況

R8:2月末 速報値	令和7年		昨年同期		増減	
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
全業種	4	706	5	751	▼1	▼45
<業種別内訳>						
製造業		70	2	97	▼2	▼27
建設業	2	115		92	+2	+23
運輸交通業	1	66	2	72	▼1	▼6
農林業	1	14		23	+1	▼9
他の産業		6		4		+2
第三次産業		435	1	463	▼1	▼28
商業		112		125		▼13
保健衛生業		125		129		▼4
接客娯楽業		83		77		+6
清掃・と畜業		61		58		+3

※ 上表の統計は、労働者死傷病報告により令和7年1月末現在と
前年同期の死傷者数を比較集計したものです。

※ 他の産業とは、鉱業・貨物取扱・畜産水産の合計。

西ノ洲環境株が2025年度「SAFEアワード」でブロンズ賞を受賞!

～ 大分県内の企業では初の快挙! ～

厚生労働省が主催する2025年度「SAFEアワード」において、西ノ洲
環境株式会社が<サービス産業>エイジフレンドリー部門でブロンズ
賞を受賞しました。大分県内の企業としては初の受賞となります。

～池田社長からのコメント～

これまで継続して実施してきた「転倒災害撲滅に向けた取り組み」
と「One Voice活動(大きな挨拶+一声掛け)」が評価され、受賞に
至ったと実感しています。SAFEコンソーシアムへ加盟したことによ
り、加盟メンバー間での取組事例の共有により社内での労働安全衛
生水準の向上にもつながりました。

今後も引き続き安全衛生活動を継続し、社内だけでなく、全国の
みなさんの転倒予防に貢献していきたいです。



(左から) 西ノ洲環境株 代表取締役社長 池田富士生氏
大分労働基準監督署 署長 松島昌彦
西ノ洲環境株 総務部長 高畑淳一氏



ブロンズ賞
西ノ洲環境株式会社(大分県)
転倒災害撲滅に向けた取り組み



SAFEコンソーシアムへの加盟
とSAFEアワードへの応募に
つきまして、積極的な取組
をお願いします。
右の二次元コードから確認
してください。



製造業 会社名 株式会社アイ・エス・アイ
タイトル 技能実習生を含めた全社員対象の腰痛予防活動

建設業 会社名 大同電設株式会社大分支店
タイトル 転倒災害防止対策

製造業 会社名 株式会社三井E&S 大分事業場
タイトル 高齢者・身障者対策、手すりの設置

建設業 会社名 株式会社めの建設
タイトル 熱中症対策

令和7年度 安全の見える化取組事例 優秀事業場表彰式を開催しました



応募総数 **39社/52部門**

安全の見える化事例について、管内の39事業場から応募をいただきました。たくさんの御応募ありがとうございました。

大分労働基準監督署で選考した結果、転倒災害防止、腰痛予防対策、エイジフレンドリー及びSafe Work OITA, Cool Work OITA部門から優秀賞4事業場を決定し、その中から株式会社アイ・エス・アイの取組事例を最優秀賞と決定しました。



最優秀賞 株式会社アイ・エス・アイ

【腰痛予防対策部門】

優秀賞

- ◇ 大同電設株式会社 大分支店
【転倒災害防止部門】
- ◇ 株式会社三井E&S 大分事業場
【エイジフレンドリー部門】
- ◇ 株式会社めの建設
【Safe Work OITA, Cool Work OITA部門】



受賞した4社の取組事例につきましては、↓下の「安全の見える化事例集」に掲載しています。

行動災害防止のための「安全の見える化事例集」

を作成しました



大分労働基準監督署では、近年の労働災害死傷者数の増加要因である行動災害を防止するため、令和6年度及び令和7年度に「大分労基署管内行動災害ゼロ運動」を展開し、本運動において、行動災害や高齢労働者の労働災害防止対策、「Safe Work OITA」及び「Cool Work OITA」のロゴマークを活用した取組の「安全の見える化」事例を募集したところ、当署管内の第三次産業の企業を含む皆様方から100事例を超える応募をいただきました。

このたび、応募いただいた取組事例を「安全の見える化事例集」としてまとめ、行動災害防止の取組強化、安全意識の向上を図るため、広く紹介することとしました。

本事例集が皆様の安全活動の一助となることを期待します。



ダウンロードはこちらから

▼大分署の安全衛生課勤務一年目であった平成十八年、当時、私の上司であったG課長から新たな取組として広報誌の作成を提案され、第一号を作成した。大分署で二十年間継続され、私が作成できるのも本号が最後となった。▼最初は「安全に！見ましたよ」と言ってくれることにやりがいを感じていた。当時、そう言ってくれた方とは、この二十一年間一緒に安全衛生の難しさに共闘してきた気がする。▼最近では、安全衛生活動に真剣に、真正面から取り組んでくれる事業場をこの広報誌等で少しでも多くの方にアピールしてあげたいという思いが大きくなった。県内の安全衛生水準を向上させるにはこのような手法も大事だし、私たちがすべき仕事だと感じている。▼これからも「安全衛生」という、とても険しい道の歩き方を勉強していきたいと思う。(阿南)

編集後記